



杉並区

ソチパラリンピック選手が



26.04.07
杉並区広報課

杉並区長を表敬訪問！

7日(月) 3月7日～16日までロシアのソチで行われたパラリンピックアルペンスキーLW3-2(立位)大回転10位、回転11位と活躍した杉並区在住の東海将彦選手(40)が田中良杉並区長を表敬訪問しました！！

杉並区出身の東海将彦選手(40)(エイベックス・グループ・ホールディングス所属)は、中学校のスキー教室に参加しスキーの魅力を知り、オリンピック選手を目指すようになりました。高校時代から本格的な練習を始め、高校・大学とアメリカの大学に留学し腕を磨きました。大学を卒業し帰国した後も日本大学などのスキー部でコーチを務めながら、競技生活を続け、2001年には世界選手権の出場権を得るまでに至りました。しかし、その2001年、指導中の事故により、脊髄の損傷による両下肢機能障害を負い、オリンピックに出場したいという夢は惜しくも断られました。



自身が愛するスキーで競技活動を続け、世界の舞台に立ちたいという夢をあきらめなかった東海選手は、パラリンピックの選手として世界の舞台を目指す

ことを決意。厳しいリハビリやトレーニングを積み、2006年のトリノパラリンピックでは大回転で銀メダルを獲得し、日本人としては2人目、立位では初めてのメダリストとなるなど活躍しました。2010年のバンクーバーパラリンピックは、直前の大会での怪我のため出場できず悔しい思いをしました。その悔しさを晴らそうと、臨んだ2014年のソチパラリンピックアルペンスキーでは、メダルの獲得こそならなかったものの、回転で11位、大回転で10位と健闘しました。

その東海選手が、7日(月) 田中良杉並区長を表敬訪問に訪れました。東海選手は、「これからも1年1年練習を積み重ね、その先に2018年の平昌パラリンピックにたどりつけたらいい。自分が取り組んだ結果、一人でも多くの人に感動を与えていきたい」と話していました。

[問い合わせ先] スポーツ振興課
総務部広報課

TEL 3312-2111
TEL 3312-2111